

2026年10月22日

各位

株式会社イオレ

イオレグループ、全国300拠点・総受電容量600MW規模の分散型AIデータセンター構築プロジェクトに参画

～ デジタルダイナミックとの協業を通じ、地域分散型AI計算基盤を活用したネオクラウド事業化を推進 ～

株式会社イオレ（本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO：瀧野 諭吾、以下「イオレ」）は、戦略的パートナーであるデジタルダイナミック株式会社（以下「デジタルダイナミック」）が推進する、普通高圧2MW級のAIデータセンターを基本モデルとして、2030年を目途に全国300拠点、総受電容量600MW規模のAI計算基盤を分散配置するプロジェクト（以下「本プロジェクト」）に参画します。本取り組みにより、全国各地に分散配置されるAI計算基盤との連携を通じ、地域や用途、顧客ニーズに応じて必要なAI計算資源を柔軟に提供できる体制を構築することで、イオレが進めるAI計算力提供及びネオクラウド事業化を一段と加速してまいります。



■ 本プロジェクト参画の背景

生成AIの社会実装が進展する中、大規模言語モデルの学習に加え、企業や生活者が日常的に利用するAIサービスの推論処理など、高性能GPUを用いたAI計算資源への需要は拡大しています。

一方、AIインフラの供給拡大においては、GPUサーバーそのものを確保するだけでは十分ではあ

りません。高密度なGPUサーバーを安定的に稼働させるためには、十分な電力容量に加え、冷却、ネットワーク、運用体制等を一体的に備えたデータセンター環境が必要となります。そのため、GPUサーバーの調達と並行して、これらの環境を迅速に設置・稼働できるデータセンター容量を確保することが、AI計算資源の供給拡大における重要な課題の一つとなっています。

こうした課題に対し、デジタルダイナミックは、既存の用地・電力インフラ等を活用しながら地域ごとに計算基盤を展開することで、GPUサーバーの「設置・稼働場所」の確保というボトルネックを緩和するとともに、地域、用途、顧客ごとに異なるAI計算需要へ機動的に対応できる供給基盤の構築を目指すべく、2026年8月に本プロジェクトを始動しました。

イオレはこれまで、デジタルダイナミックと共にGPUサーバーの調達・販売を起点にAIデータセンター事業を拡大してまいりました。さらに、今後はデジタルダイナミックとの連携を拡大し、計算資源を利用目的や契約形態に応じて柔軟に提供するAI計算力提供事業を2026年秋より順次開始することを発表しています。

本プロジェクトは全国各地に分散配置されるGPU計算資源を連携させ、顧客が必要とする計算資源を柔軟に利用できる環境を構築するものです。本プロジェクトへの参画は、イオレが目指すGPU・データセンター・電力・冷却・ネットワーク・運用基盤を一体として提供する「ネオクラウド事業」の実現を強力に推進する1つの手段であると考え、参画を決定しました。

■ イオレが目指す分散型AIインフラとネオクラウド

イオレはこれまでデジタルダイナミックとの協業を通じて、「NVIDIA L40S」や「NVIDIA RTX PRO 6000 Blackwell Server Edition」等を中心としたGPUサーバー販売を基盤としてAIデータセンター事業を拡大してまいりました。現在、両社では、GPUサーバーを販売するだけでなく、GPU・データセンター・電力・冷却・ネットワーク・運用基盤を組み合わせ、顧客が必要とするAI計算資源をサービスとして提供するネオクラウド事業への展開を進めています。2026年9月には、デジタルダイナミックとの連携拡大により、AI開発・推論用途を対象としたAI計算力提供事業を本格始動しております。

本プロジェクトへの参画を通じて、全国各地へのAIデータセンターの分散配置が進むことで、イオレは個々のデータセンターを単独の設備として捉えるのではなく、複数地域に配置されたGPU計算資源を束ね、顧客ニーズに応じて柔軟に提供する分散型の計算基盤として活用していくことを目指します。

これにより、

- GPUサーバーの調達・販売
- AIデータセンターへのGPU配備
- AI計算力の販売・サービス化

- 複数拠点の計算資源を活用したネオクラウド化

までを一体的に展開し、GPUサーバーの販売収益に加えて、AI計算力提供による継続的な収益機会の拡大を図ってまいります。

■ 普通高圧2MWモデルによる機動的なAIデータセンター展開

本プロジェクトでは、普通高圧2MW級のAIデータセンターを全国展開の基本モデルとしています。また、地域の有力企業、地域金融機関、地方自治体などと連携する「地域共創型」を採用し、地域の事業者が事業主体となり、デジタルダイナミックが本部機能を担い、事業計画の策定からデータセンターの企画・建設、GPUサーバー等の調達、AIクラスタ構築、運用・保守、計算資源のサービス化までを一体的に支援します。詳細は、デジタルダイナミックが2026年8月18日に発表した[プレスリリース](#)をご覧ください。

【本プロジェクトで実現したいこと】

- 東京・大阪など大都市圏に集中するAI計算基盤の地域分散
- 災害・通信障害等の有事に備えたAIインフラのレジリエンス向上
- AI推論時代に対応した、利用地域に近い計算環境の整備
- 地方における新たなデジタル産業・雇用・設備投資機会の創出
- 日本全国におけるAI社会実装の加速

■ 今後の展開

イオレは今後も、デジタルダイナミックをはじめとするパートナーとの協業を通じて、GPUサーバーの調達・販売から、AIデータセンター開発、AI計算力提供まで事業領域を拡大してまいります。

全国各地に整備されるAIデータセンター及びGPU計算資源との連携を強化し、地域やデータセンターごとに分散したAI計算資源を一体的に活用できる事業基盤の構築を進めることで、GPU・データセンター・電力・冷却・ネットワーク・運用基盤を一体として提供するネオクラウド事業の実現を目指します。

イオレは、これらの取り組みを通じて、日本におけるAI社会実装を支えるインフラ基盤の構築を推進してまいります。

会社名	株式会社イオレ
本社所在地	〒105-0003 東京都港区西新橋1-6-11 西新橋光和ビル 4F

代表者	代表取締役社長 兼 CEO 瀧野 諭吾
設立	2001年4月25日
資本金	32億3,253万円 ※2026年9月30日時点
従業員数	81名 ※2026年9月30日時点
上場市場	東京証券取引所グロース市場（証券コード：2334）
事業内容	・ AIインフラストラクチャー事業 - GPUサーバー販売 - AIデータセンター開発・開発支援・投資 - ネオクラウド事業 ・ AIUI事業 - HR Tech - Ad Tech - 次世代AIメディア など ・ オンチェーン金融事業 - 暗号資産の保有、運用、決済サービス等の金融基盤提供
URL	https://www.eole.co.jp/

本件に関するお問合せ 株式会社イオレ Tel: 050-5799-9400 Mail: press@eole.co.jp
--

他社登録商標・商標等、記載されている会社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。